

# 広報 **ふじ**

NO. 114

発行・富士市役所  
富士市永田61-1  
編集・企画調整部広報課  
47.6.25 発行 【毎月5日と25日発行】



賑わった緑と花の百科展



【今年一部完成した大淵小学校】

# 58%が鉄筋に

市は次代をにう児童・生徒のために、よりよい教育環境づくりを進めていますが、今年も教育施設の整備を重点施策にかかげ、多額の費用をつぎこんでいます。今年度の教育費は17億9826万円と昨年比で3億6634万円増加しました。なお今年度は厚原小学校（仮称）の新設や小中学校の増改築など行ないませんが、次のように教育施設の整備を進めています。

4500万円、今年度は87億390万円で、伸び率は下回り、教育費をこれ以上ふやせば、市のほかの仕事ができなくなる限界まで、予算をつぎこんでいます。

また、富士市の児童・生徒の増加率はここ数年、700人から800人と、毎年学校を1つつくらなければまにあわないほどになっています。これまでは、教室をふやして増加する児童・生徒を各学校で収容してきましたが、現在は団地などの建設で、1カ所に集まる傾向があり、新しく学校をつくらなければ収容ができなくなっています。

昨年は広見小学校の開校、来年の4月までに厚原小学校（仮称）を、そのほか昭和50年までに小学校と中学校をそれぞれ1校ずつつくらなければなりません。また、三ツ沢の県営富士団地が完成すると、どうしても小学校と中学校をつくることとなります。

このように新しい学校をつくとともに、古い校舎の建てかえも進めなければなりません。現在の鉄筋化率は、小学校が63.3%、中学校が50.8%で、平均58%が鉄筋校舎になりました。

## 学校の増設には多額の費用が

ところで、みなさんは1つの新しい学校をつくるのに、いくらぐらい費用がかかると思いますか。昨年広見町にできた広見小学校を例に取ってみると一番わかりやすいと思いますが、校舎関係だけで2億3000万円かかっています。このほか建設中のプール、将来つくる体育館など必要な施設がそろい、1000人ぐらいの生徒が勉強できるようにするには約3億円がかかります。これに土地の購入費を合計した金額が1つの小学校を建設する費用となります。

## 今年度の教育費は17億9826万円

学校が古くなつたから、早く鉄筋で新しくつくってほしい。学校をつくるのは市として当然の義務ではないか——という声を聞きますが、市の限られた予算の中で、学校をつくつたり、古い校舎を建てなおすことは、一度に全部はできません。

しかし、教育費は、昭和43年度の当初予算で7億6124万円なのが、45年度には9億2408万円となり、今年度は17億9826万円と4年間に倍以上ふえています。教育費に比べ、市の予算は昭和43年度が43億

## 厚原小の建設も急ピッチ

…来年4月開校…

お金がかかるといって、学校施設をつくらないわけにはいきません。今年度も岩松小学校の改築、元吉原小学校の増改築大淵第1小学校の改築、富士第2小学校の改築などとともに、厚原小学校の新設を行ないます。

厚原小学校は、昨年度から用地買収をはじめ、さきごろ建設工事にかかりましたが、来年の3月には完成します。建設地は東駿河湾工業用水道厚原分水場の北で、厚原大石の2万346平方メートルです。



【建設をはじめた厚原小学校】

校舎は鉄筋コンクリート4階建てで、普通教室18、特別教室3、給食室、職員室などができます。

完成すると、現在鷹岡小学校や伝法小

学校に通学している児童の一部が入るようになり、14学級600人ぐらいの生徒数を予定しています。

# 進む教育施設の整備

## 中学校は全校に体育館が できました

### 今年度は東小学校に建設

雨が降つても子どもたちが元気に体操できるように…。こうした父兄のみなさんの要望に答えるため、体育館の建設も積極的に進めています。プールはまず小学校から建設をはじめましたが、体育館は中学校から着手し、昨年度までに全校に設置しました。

しかし、小学校も18校中14校に体育館をつくりましたので、残るのは東小、原田小、大淵2小、広見小の4校だけになりました。このうち、東小には今年度中に建設します。工費は3554万円で、完成は3月の予定です。残りの3校にもできるだけ早く建設する予定です。

なお、体育館は生徒数によって大きさなども異なります。生徒数が1000人くらいの学校では、体育館の広さも1000平方メートルは必要だといわれます。この1000平方

メートルの体育館を作るには約4500万円の費用がかかります。このように、体育館を建設



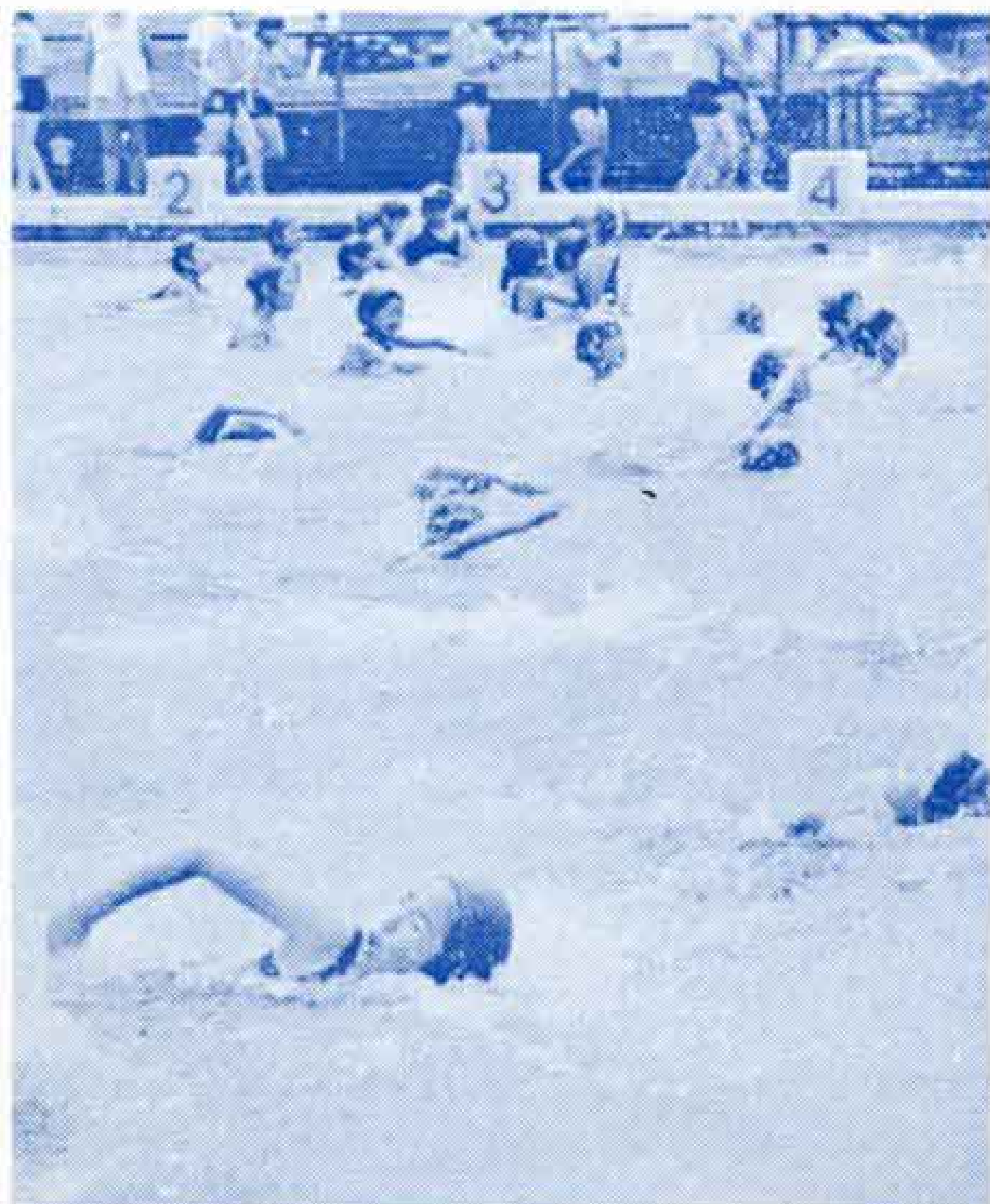
するには多額の費用がかかりますが、現在ある体育館も古くなれば改築しなければなりませんし、学校が新しくできればやはり新設しなければなりません。

子どもたちがより良い環境で勉強できるように、計画的に改築計画をたて、整備を進めていきます。

【写真は先ごろ完成した伝法小学校体育館。体育館のない学校は4校だけになりました。】

## 広見小のプールは7月に完成

### 小学校は100%の普及率



水泳は体育の中でも理想的なスポーツとされ、身を守るためからも泳ぎを覚えることは大切です。昔は川や海で泳ぐこともできましたが、最近汚れがひどく危険もともなうので、泳ぐことを禁止しています。このため、子どもたちにとって、プールは夏に欠くことのできないものとなっています。

これまで小学校に優先してプールを設置してきましたが、昨年開校した広見小学校は校舎とプールを一度につくることができませんでしたので、1年間遅れ今年工事をはじめました。したがって、広見小学校のプールが完成する7月下旬には、18小

学校全部に設置され普及率100%になります。

中学校でプールのないのは、12校のうち大淵中、田子中、東中の3校で、できるだけ早い時期に全校に設置する計画です。もうしばらくお待ちください。

なお、市内の小中学校に設置してあるプールは、25メートルプールが大部分を占めています。しかし、勢子辻分校や大淵第2小学校のように生徒数の少ない学校は、児童数に応じてつくりましたので、15メートルプールと小さくなっています。

ところで、縦25メートル、横15メートルのプールを建設するには、1500平方メートルの用地と約1700万円の工事費がかかります。

【プール建設も急ピッチで進めています】

道路、農業用水路、公園予定地など現在問題になっている場所や、工事を計画している場所を6月6日と7日の2日間、渡辺市長が現地視察を行ないました。

視察は6日が吉原地区、7日が富士・鷹岡地区で、25カ所を視察しましたが、いずれの場所も市民生活に密接に結びついたものばかりです。なお、視察した25カ所のうち江尾、三ツ沢、富士駅南地区の問題は次のとおりです。

■江尾地区農業用水問題

地元から「田植をしたくても水田に水が入らないのでこまる。何とかしてほしい」と要望がありました。このため現地を視察しましたが、この問題も一度使用した水を再利用することによつて解決できるので、早急に対策を立て、一番効果があがる方法で実施することになりました。

# 市内25カ所を市長が視察

■三ツ沢地区の道路問題  
三ツ沢地区は3年前203世帯でしたが、現在は288世帯と大きく伸びています。ところが、道路幅は昔のまままで拡張もこれ以上できない状態です。このため幹線道路の新設が望まれていますので、県営住宅団地の関連など考え合せ検討して

ます。

■富士駅南地区排水路問題

駅南地区の排水路は、測溝が狭いうえ曲つているので、雨が降ると道路へあふれ、川のようになつてしまいます。ところが、排水路ぞいに家が建つているので改良はむずかしく、技術的にどうしたらよいか検討しています。

## 実施できるものは すぐにも

なお、渡辺市長は「2日間の日程では市内全域を見て回ることができなかつたけれど、机の上で地図を広げて話しを聞くより、なんといつても自分の目で確かめるのが一番。地元の人たちの意見を聞いて実情も良くわかつたので、すぐ実施できるのは実行していく。予算や関連事業など問題があるものは早急に検討し、対策を立てる。」と感想をのべていました。



## 富士山

# 自然環境の保護に乗り出す

## 4市1町で準備会を結成

周遊道路の開通、別荘地の分譲と最近富士山の開発も進んでいます。5合目まで自動車で登れ、中腹の原始林にもだれもが簡単に行くことができるようになりました。

しかし、このまま開発していけば、自然はますます失われてしまいます。開発を進めるにも自然と調和のとれた方法で行なうことが大切です。一度破壊した自然を復元するには、開発して得た利潤の何千倍かの投資をしなければなりません。

自然を守り、調和のとれた開発を進めるには、1つの市でいくら規制しても富士山全域を守ることはできません。富士山を行政区域に持つ市・町・県、しいては国が中心になつてやらなければなりません。

そこで、富士山の自然を守ることを目標にした「富士山の自然と環境を守る

会」の準備会を結成し、さきごろ初会合を開きました。

この会合には渡辺富士市長、岩崎裾野市長、植松富士宮市長、鈴木御殿場市長、湯山小山町長（代理森本経済課長）が出

席し、4市1町が当面する諸問題などを話し合いました。

話し合いでは、まず静岡県側の体制固めをしてから、山梨、神奈川の両県にも参加を呼びかけ、広域的な組織に盛り上げる、国と県に呼びかけ特別立法をつくつて乱開発を防止する、などの意見が一致しました。このほか、「観光開発と保全問題」、「大沢くずれなど自然災害からどう守るか」、「乱開発は富士山の崩壊を早めるので、富士山の価値を再認識する」など活発な意見がかわされました。



市議会6月定例会

社会福祉センター条例の制定

市議会6月定例会が6月19日から3日間開かれ、昭和47年度一般会計補正予算、社会福祉センター条例の制定など21議案を慎重に審議した結果いづれも原案どおり可決しました。なお議長と副議長の辞任にともない、正副議長選挙が行なわれ、投票の結果、議長に佐野喜郎氏、副議長に中井浜次郎氏がそれぞれ選ばれました。

富士市部設置条例の一部が改正され、福祉事務所に課を設置することになりました。これまで福祉事務所は、市民部に所属していましたが、7月1日から行政組織上、部として格付けし社会課・保護課・児童課の3課を設置します。

福祉事務所の場所、仕事内容はこれまでと変わりませんが、各課の係は次のとおりです。

- ・社会課 管理係、社会係
- ・保護課 保護係、老人福祉係
- ・児童課 児童係、保育係

このほか福祉事務所には、吉原・富士老人ホーム、ふじやま学園、くすの木学園が所属し、保育園は児童課の保育施設として所管していきます。

つぎに、東名インターチェンジの北側に建設中の社会福祉センターが実施する事業などを決めた「社会福祉センター条例」が制定され、9月1日から施行します

福祉センターを利用できるのは老人、身体障害者、心身障害児、母子世帯などです。事業としては、生活相談健康相談など相談ごと、身体障害者の機能回復訓練・療育訓練・心身障害児の1日保育などを行ないます。

なお、市長が特別認めた場合、対象者以外でも利用できますが、政治的活動、営利をはかる目的、風俗を乱すおそれのあるときなどは使用できません。

このほか、厚原小学校・田子浦小学校主体工事、岩松小学校増改築主体工事、公営住宅三ツ沢北団地第1種建設主体工事などの工事請負契約が議決されました



議長に佐野喜郎氏

市議会6月定例会で望月政三議長と秋山登副議長の辞任にともない、正副議長選挙が行なわれ、議長に佐野喜郎氏、副議長に中井浜次郎氏が選ばれました。

佐野喜郎議長 (62才・水戸島本町8-5)



昭和29年に旧富士市議会議員に就任してから市議4期をつとめ、この間、議長副議長、建設委員長、議会運営委員長などの要職を歴任。

中井浜次郎副議長 (62才・原田165)



昭和24年に吉原市議会議員に就任してから市議6期をつとめ、この間議長、副議長、各常任委員長などの要職を歴任してきました。

- 総務企画委員会  
委員長田村陸彰 副委員長小林武
- 文教民生委員会  
委員長植田祥之 副委員長長谷川恒三
- 衛生経済委員会  
委員長外山義一 副委員長芦沢彦正
- 建設水道委員会  
委員長佐野晴雄 副委員長村上勝次郎
- 身延線複線化特別委員会  
委員長渡辺政敏 副委員長山崎隆
- 国一バイパス対策特別委員会  
委員長加藤昌一 副委員長伊藤茂夫
- 交通安全対策特別委員会  
委員長森野芳郎 副委員長山田慶助
- 総合運動公園特別委員会  
委員長服部源一郎 副委員長佐野好夫
- 公害対策特別委員会  
委員長遠藤松吉 副委員長松野俊一
- 議会運営委員会  
委員長鈴木実 副委員長佐野勲

件数 211件  
(4月までに905件)

死者 2人  
(4月までに13人)

負傷者 101人  
(4月までに457人)



五月の火災件数



4件発生  
(4月までに36件)

損害額 1570万円  
(4月までに1394万円)

負傷者 1人  
(4月までに死者1人  
負傷者4人)

## 公園、管理ゴミ収集などに 建設的な意見が出されました

### …第1回市政モニター会議開く…

みなさんが日頃、市政に対してもつている意見、要望などを幅広くお聞きする市政モニター制度を設けてから、今年で3年目になります。今年は34人の方に市政モニターになつていただきましたが、この第1回会議を6月5日に市庁舎で行ないました。

会議には渡辺市長をはじめ関係部課長が出席し、モニターのみなさんと、富士市をよりよくするにはどうしたらよいか活発に意見の交換を行ないました。

モニターのみなさんからは、「河川の汚れがひどいので、ひとりひとりが気をつけるように公德心を高めよう」、「ゴミ収集を能率的に」、「公園の管理をしつかり」、「土地区画整理事業の執行に

ついて」などがだされ、意見の交換を行ないました。

会議のあと、ふじやま学園、下水処理場、丸火自然公園などの公共施設を、マイクロバス2台に分乗して見学しましたが、ここでも施設に対する建設的な意見がだされました。

モニターの任期は48年3月31日まででこの間、市政に対する意見や苦情などをモニター通信で寄せていただいたり、モニター会議への出席、アンケートに対する回答などの仕事をしていただきます。市ではモニターのみなさんから出された意見をできるだけ市政に取り入れ、だれもが住みたくなる富士市の建設に努力してまいります。



【活発に意見の交換が行なわれた  
第1回モニター会議】



### 老令年金を受けるには 25年掛金しなければ…

**問** 国民年金の老令年金を受けるには、25年以上保険料を掛けていなければいけないと聞きました。私の場合、大正10年5月生まれなので、加入してから60才になるまでに25年の期間を充たすことができません。こうした場合はどのように取り扱われるのですか。

**答** 老令年金を受けるには、つぎの2つの条件を満たしていることが必要です。まず第1に保険料納付済期間と保険料免除期間とを合算した期間が25年以上あること。つぎに年令が65才以上であることです。

しかし、25年という期間は、この制度ができた当時の年令に応じて24年から10年に短縮されています。つまり、その時に一定の年令以上だった人は、昭和36年4月から60才になるまでに、25年の期間を満たせないで、これらの人びとも老令年金を受けられるよう年令に応じて保険料納付済期間を24年から10年に短縮したわけです。したがって、大正10年5月生まれの人は、16年間掛金をすればいいことになります。

## 当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。急病などでお困りのときにご利用ください

### ■7月2日

外科 米山病院 (吉原4 52-3060)  
田辺医院 (本市場 61-8410)  
産婦人科 武田医院 (西宮島61-3490)

### ■7月9日

外科 芦川病院 (中央町2 52-2480)  
中央病院 (本市場 61-8800)  
産婦人科 吉見医院 (吉原4 52-2399)

### ■7月16日

外科 石川医院 (瓜島 52-1985)  
戸田医院 (横割1 61-2026)  
産婦人科 中央病院 (本市場61-8800)

### ■7月23日

外科 吉田医院 (石坂 51-2515)  
藤井医院 (松岡 61-7811)  
産婦人科 米山医院 (和田2 52-1399)

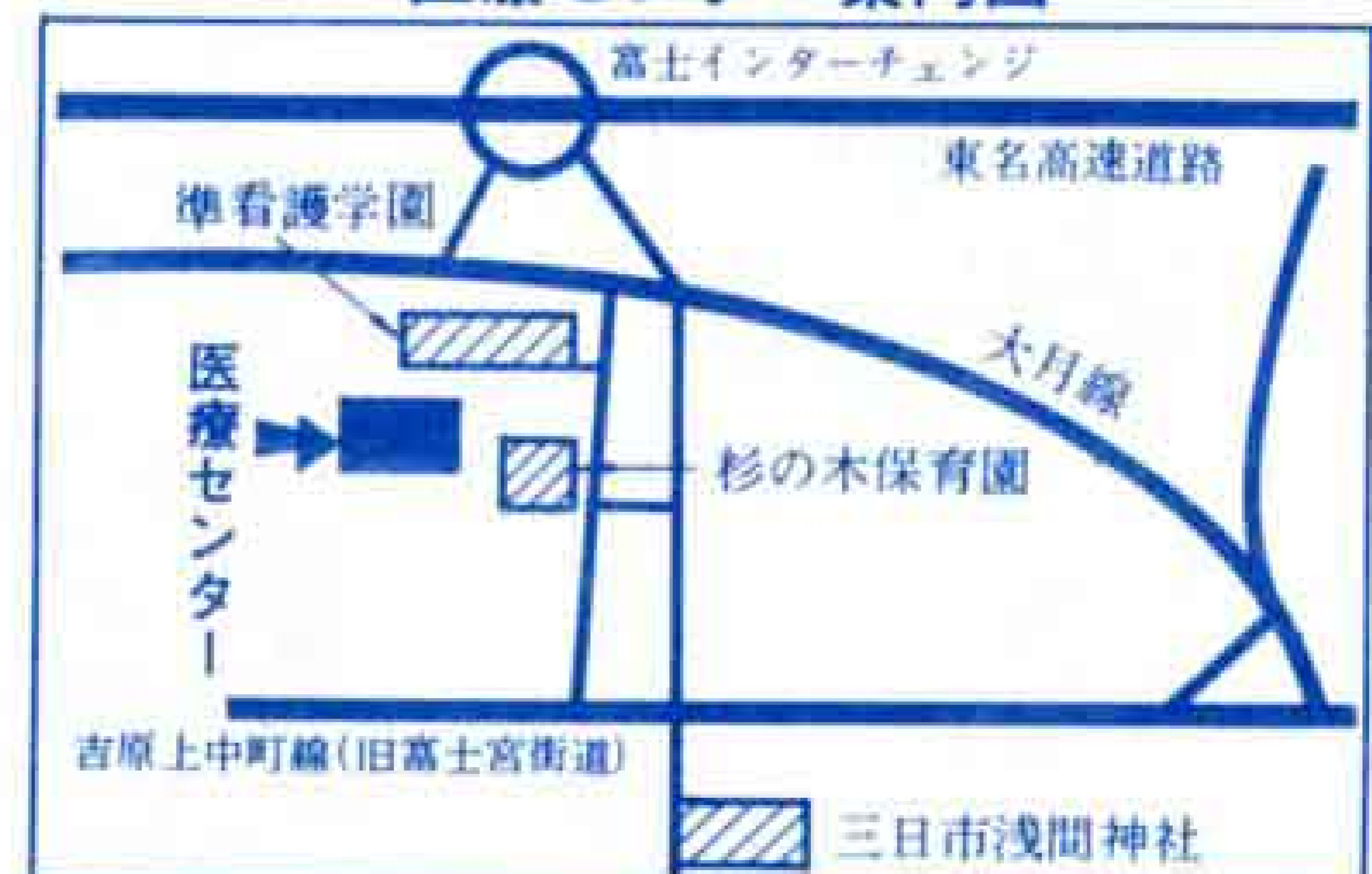
### ■7月30日

外科 鈴木医院 (宇東川3 52-2213)  
山崎医院 (厚原 71-3315)  
産婦人科 池谷医院 (水戸島61-0873)

※内科は富士医師会が「医療センター」で行つていきます。診療時間は午前9

時から午後5時までで、時間外の診療はいたしません。

### 医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2 (長者町) 電52-3104」です。



◎岩本山団地で花だんづくり

「町に緑を……」と、花の会は空地を利用した花だん作りを指導しています。岩本山団地では町内会、花の会、子ども会のみなさんが団地の中心に花だんづくりをしています。6月6日には花の会の協力でカイズカイブキ、ツツジ、ホリホツクなどの花木約100本を植えました。なお、市内の花だんは現在190あります。10月には花だんコンクールも行なわれますから、各地区でも花だんの整理をしてください。

◎1億5000万円を融資

住宅を建てる人や宅地を購入する人に、資金を融資する制度を今年度から設け、4月に借り受け希望者を募集したところの148人応募者がありました。今回の貸し付け枠は1億5000万円で、1人40万円から200万円まで借りることができます。しかし、希望者が多かつたので、抽選で決めました。この結果、佐野光雄さん（下横割）のほか98人が今回借り受けることになりました。



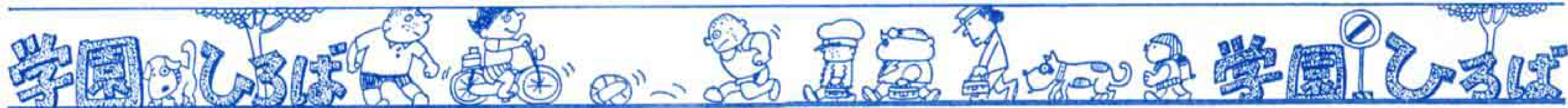
◎吉原地区婦人会が草取りや清掃を

「道路の中央分離帯が草ぼうぼうでは、町の美化もだいなし」と、さきごろ吉原地区婦人会のみなさんが、臨港富士線の警察署前で、草取りを行ないました。吉原地区婦人会は、会員2655人で、道路や公園の草取り清掃などの奉仕活動を定期的に行なっています。なお、市内の道路で、中央分離帯に芝やツツジなどが植えてあるのは、臨港富士線と田子の浦伝法線の2カ所です。

◎好記録が続出

第5回市陸上競技大会が、6月11日須津中学校で行なわれました。参加者も年ごとにふえ、今回は小学生から一般まで808人が参加しました。全員が自分の最高記録を出そうと大張り切り。記録は東中学校2年の渡瀬きよみさんが、女子砲丸投げで11.42秒の大会新記録を出したのをはじめ、元吉原中学校3年の森田正郁さんが走高とびで大会タイ記録を出すなど各種目に好記録が出ました。





学校自慢

…須津中学校…

小さな親切運動で全国表彰

愛鷹山の裾近く緑濃い自然と、美しい空に恵まれているわが須津中学校は、はなやかなものはありません。しかし、私たちは、はなやかさを追い求めるかわりに、じみで目だたない道を選びました。それは、5年前からはじめた「小さな親切運動」で、生徒全員が会員になりました。

「朝夕のあいさつをしましょう」「紙くずを捨てないようにしましょう」などというごく日常のあたりまえのことから

出発しました。現在では、生徒会の積極的な働きかけで、いろいろな奉仕活動を計画し、バス停の清掃、古切手集め、歳末助けあい募金など、全生徒の協力で実績を積みあげています。

なお、このたび「小さな親切運動9周年記念全国大会」で、全国から4校が表彰されることになりましたが、須津中学校は4校のひとつに選ばれ、さきごろ表彰され

ました。表彰されることは名誉であり、うれしいことですが、私たちのこの活動が、ひとつの芽となり核となつて、PTAや地域の運動として、だんだん広がってきていることのほうが何よりも心強くうれしいことです。(3年・高室利子)



今泉小で35周年記念が

今泉小学校が、現在の図書館がある水の上から、現在の富士見町に移転して、今年で35年たちました。そこで35周年を記念して、みんなが書いた学校の絵を展示したり、父兄会を開いてお祝いしました。

移転した昭和12年には、学校名も「今泉尋常(じんじょう)高等小学校」と呼び、生徒数は現在の1676人より多く、1789人もいました。たくさんの生徒がいたのは、学校制度が今と違い小学校6年のほかに高等科2年があったのと、通学区も石坂や神戸も含まれていたからです。

なお、今年は学校制度が明治6年にできてから100年目になるので、市役所でも秋に記念行事を予定しています。



道路の長さは?



市内の道路をまっすぐにすると、富士市から下関までの長い距離になるけど、みんな何かわかるかなーもの知りはかせなんでも知ってるよ。

道路には国道と県道、主要地方道、市道があつて、市役所で舗装したり新しくつくるのが市道だよ。市内の道路の長さは、国道22,580m、県道87,566m、主要地方道10,080m、市道828,375mで、合計すると948,601m。ちょうど山口県下関市へ行くくらいの距離になるんだよ。

ぼくらのまち



須津小学校 6年 松下尚之

ぼくの住んでいる所は、昔須津村と言われ、富士市の東はしにあります。

後ろには、愛鷹山がそびえ、小学校の

横を流れる須津川の上流には、大瀬の滝があります。

今、山々は若葉に色どられ、農家の人たちは、お茶つみに精をだしています。ぼくも手づみを手伝いました。

秋になると毎年大瀬の滝まで遠足に行きます。赤や黄にそまつた木の葉が、とてもきれいです。色づいたミカン畑の間をぬつて、歩いて行くのは楽しいです。滝の水はすきとおつて、冷たく気もちがいい。やまめやさんしょう魚、さわがにもたくさんいます。自然にめぐまれていると思います。

ぼくが生まれたころの須津は、新幹線

や東名もなく、毎日とても静かだつたようです。今では、両方にはさまれ「ゴーゴー」と自動車の音がうるさく、眠れないこともあります。

今一番困まっているのは、昔のままのせまい根方街道です。自動車の数がふえおそろしい交通事故がおきることです。

町の方は、通学路をつくつたり、交通整理をして須津の子どもを守つてくれます。けどぼくたちは、安心して遊ぶ所がないので、もつと遊び場を作つて、交通事故のない住みよい町にしたいなといつも友だちと話しています。